

益田圏域保健医療対策会議 議事概要

【日時】令和5年3月17日(金) 14時00分～15時30分

【場所】益田合同庁舎 大会議室 (Z00m会議併用)

【出席者】病院、医師会、歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション協会、食改、社会福祉協議会、住民代表、医療を守る会、消防長、島根県保険者協議会、管内市町等

【議事内容】

- 1 島根県保健医療計画（益田圏域編）の進捗状況について
 - 1) 益田圏域の健康指標
 - 2) 各機関の取組状況
 - 3) 医療・介護連携部会の報告
- 2 新型コロナウイルス感染症患者発生状況について
- 3 その他

【主な意見の要旨・協議結果について】

所長あいさつ

本会議は、地域医療構想の調整会議と保健医療計画益田圏域編の進行管理を兼ねた会議としている。現計画については、H30年度から6年間の計画となっており、途中見直しもしている。今年度で5年目を迎え、次年度が最後の年となる。

また、新型コロナウイルス感染症については減少が続いている。5/8以降は5類へ移行するに当たり、関係機関の協力を得て準備をしていく。

委員長、副委員長の選出…引き続き、委員長（松本委員）、副委員長（齋藤委員）

1について

○健康指標について、統計学的に有意差があるのかないのか、わかるように示して欲しい。

○⑱「医療安全の推進について」、医療従事者の身の安全を確保できるよう対策を立てて行かなければならない。

○益田圏域の健康指標で、がんや脳卒中などに課題あり。子宮がん検診等は実施しているが、早期発見が弱いところもある。

医師不足から検診医療機関の受け皿が小さく十分な件数をこなせていない。総合的な医師不足が解決しなければ、検診件数の増加や検診の質の向上は不可能である。

○益田市の新生児は減少し、それに伴って、小児医療がますます手薄になっている。将来的に、医師数と分娩数から、安心安全な分娩を考えると危機感を持っている。

○子宮頸がんワクチン接種勧奨について、国もワクチン接種を推奨するようという方向になったので、広く啓発するとともに受けられなかった方に個別通知しながら接種率向上を目指している。

2について

○検査の方法、統計の取り方は以前と同じ中で、コロナ患者数は減少している。

3について

○令和5年度は、第8次保健医療計画・医師確保計画・外来医療計画の策定作業の年であり、7月、10月、2～3月の3回程度会議を開催する予定である。
圏域の特徴を踏まえた計画としていきたいと考えている。